

R P P C メール

リサイクルポート推進協議会

第 2 6 3 号 (平成 2 0 年 1 2 月 1 0 日発行)

=====

《RPPC 活動予定表》

12/16 調査・研究部会 汚染土壌事業化分科会 15:00 ~ パーク芝浦 3 F

=====

《RPPC からのお知らせ》

リサイクルポート推進協議会主催

「平成 20 年度 リサイクルポートセミナー」開催のご案内

当協議会では、リサイクルポートに関連する最新情報の共有を図るとともに、推進協議会活動を広く一般に啓発することを目的とした「リサイクルポートセミナー」を下記要領にて開催致します。

今回のセミナーでは、近年の「地球温暖化問題」を取り上げて、リサイクルポートをはじめとする循環型社会構築に向けた取組と温暖化に関する話題のご講演を企画いたしました。また、リサイクルポート推進協議会の活動報告として「リサイクルポート実証事業」の実施内容の中間報告を予定しております。

なお、会員以外の方も参加することが出来ますので、ご多用中のところとは存じますが、関係者お誘い合わせの上ご参加下さりますよう、ご案内を申し上げます。

記

開催日時：平成 21 年 1 月 14 日(水) 14:00 開会

場 所：九段会館

講 演：「循環型社会構築と温暖化対策の協調」

(独)国立環境研究所 循環型社会・廃棄物研究センター長 森口祐一

「港湾における地球温暖化対策の現状と

低炭素化社会へ向けたリサイクルポートの有り方」

東京海洋大学教授 渡邊豊

活動報告：「リサイクルポート実証事業」の実施について」

リサイクルポート推進協議会 調査研究部会

以上

【事務局】

=====

《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1 . 国土交通省港湾局、港湾関係業界団体トップと懇談行う

2 . 広島港利用者懇談会を開催、物流戦略の取組に活かす

=====

《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 国土交通省港湾局、港湾関係業界団体トップと懇談行う

国土交通省港湾局は港湾関係各団体トップと懇談をもち、業界が抱えている課題や要望を聞いた。団体からは、港湾関係予算の必要額の確保や公共工事における双務性の向上、ならびに入札・契約制度の改善などの要望があった。また調査・設計業務分野では技術重視型調達方式の拡大などが挙げられた。港湾局ではこれらの要望について、既に実施中の内容についてはより深化を図るとともに、対応が可能なテーマについては順次施策に反映していく方針。

要望活動を行ったのは日本埋立浚渫協会、日本港湾空港建設協会連合会、日本海上起重技術協会、日本潜水協会、港湾技術コンサルタンツ協会、海洋調査協会など港湾関係 14 団体。各協会等からは会長、副会長、理事等が出席、港湾局からは局長、技術参事官、技術企画課長、建設企画室長、事業監理官らが応じた。

主な要望事項と港湾局の回答は概ね以下の通り。

要望事項 = 港湾局の回答の順で記載。

港湾関係事業量の確保 = 20 年度第 1 次補正予算として港湾関係 164 億円を確保したところ。現在作業中の 2 次補正については 1 次を上回る額の確保を目指したい。また公共事業費の削減が続く中で、港湾予算は 2 年連続でシェアを回復してきている。

21 年度予算についても所要の規模を確保したい。

公共工事実施における双務性の向上等

発注者・受注者、元請・下請け間の双務性の向上

工事の品質確保

キャッシュフローの改善

を狙いとする港湾局版「プロジェクト X」を実施中である。今年度は全国の各港湾事務で最低 1 件、約 50 工事を試行中だが、三者（発注者・元請け・下請け）連絡会等を通じた「建設業法令遵守ガイドライン」の周知、徹底を更に図りながら来年度はその適用工事を拡大していきたい。

また契約変更を適切に実施するため、設計変更事例集を公表すると共に、総価契約単価合意方式の試行等も行っており、今後ともオープンで判り易い形で、契約変更手続きの迅速化を目指したい。

入札・契約制度の改善 = 調査基準価格の引き上げについては今年 4 月に実施に移したところであり、当面はその状況を見ながら引き続き検討していきたい。

また総合評価落札方式については、ガイドライン制定後 3 年を経過し、その項目の在り方などについて、省内の「公共工事における総合評価方式活用検討委員会」で検討が続けられている。同委員会での動きも見つつ、港湾局としての独自の議論も加えて適切に対処していきたい。

調査・設計業務における技術重視型調達方式の拡大 = 調査・設計業務においても、技術力を評価するプロポーザル方式の活用を進めており、20 年度は昨年度に比べ大幅に増加して

いる。また、総合評価方式の採用についても11月5日に標準ガイドラインが出来上がったところであり、今年度は約20件程度を予定し、実施に向けて順次手続きに入りつつある。状況を見ながら21年度はさらに適用を拡大したい。

【港湾空港タイムス】

.....
2. 広島港利用者懇談会を開催、物流戦略の取組に活かす

中国地方整備局広島港湾・空港整備事務所は12月3日、地域の国際競争力強化に向け、平成18年度から取り組んでいる「中国地方国際物流戦略チーム」での検討の一環として、「広島港利用者懇談会」を開催した。港湾利用者の国際物流に関する要望やニーズを把握し、今後の物流戦略の取組に活かすのが狙い。

中国地方国際物流戦略チームでは、経済活動を支える円滑で効率的な物流ネットワークの構築を狙いに、19年6月に「中国地方の産業の国際競争力強化に向けた緊急提言」ならびに、20年2月には提言を実現するためのアクションプランを打ち出している。

今回の利用者懇談会は前回実施した懇談会から2年余が経過し、物流を巡る情勢も変化していることから、国際および国内物流の効率化に対する最新ニーズを把握、当日の成果を今後の物流戦略に活かしていく。

【港湾空港タイムス】

#####

発行者：RPPC 広報部会

部長：本野 晃郎 パシフィックコンサルタンツ(株)

部会員：藤原 敏光 五洋建設(株)

門脇 直哉 新日本製鐵(株)

座間味 康喜 東京都

リサイクルポート推進協議会事務局

(財団法人 港湾空間高度化環境研究センター内)

担当：首藤、新谷、高橋(美)

URL：www.rppc.jp E-mail：rppc@wave.or.jp

会員主催や会員に関係した催し物(セミナーなど)の情報がありましたらご連絡下さい。開催案内等の情報をメールマガジンで配信いたします。

メールマガジンに対する意見、要望がありましたらご連絡下さい。

#####